

ようろう 議会だより



おそとで いっぱい あそぼうね (下笠保育園)



ページ

「東部町民体育館耐震・大規模改修工事決定」	2
本会議及び常任委員会報告	3
ほかにこんなことが決まりました	5
町の考えを問う (5議員が一般質問)	6
あれから「ご当地ナンバープレートの普及」はどうなったんやあ～	11
議会に対する意見 (住民の声)	11
議会ニュース	12

6月

定例議会

ホームページ
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

2017.8.1

(平成 29 年)

No.137

137

号

ようろう議会だより

2017.8.1

発行/2017年8月1日 養老町議会

〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584325084(直通)

編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機

議会ニュース

一年間お疲れ様でした

第2回定例会(初日)において、吉田太郎前議長のその功績に対し、議会より感謝状が贈呈されました。



議会改革特別委員会 可児市へ視察研修

7月11日、議会改革において全国でトップレベルの高評価を受ける可児市議会へ視察に行きました。

首長の追認機関ではなく、二代表制の基での議会のあり方や、住民から関心を持たれ必要とされる議会の姿について講義を受けました。

その後の意見交換では、活発な質疑が行なわれ、予定時間を大幅に延長して視察を終えました。



養老町議会

録画中継配信中

養老町議会では定例会の様様をインターネットで録画配信しています。養老町議会のページからお入り頂けます。ぜひご覧下さい。

前号 (No.136) のお詫びと訂正

2・3ページの主な質疑及び討論、及び14ページ高齢者叙勲の中で、一部誤りがありましたことをお詫び申し上げます。

(誤)「平成29年度養老町一般会計補正予算」及び「平成29年度養老町国民健康保険特別会計補正予算」
→ (正)「平成28年度～」
(誤)「受賞」→ (正)「受章」

9月に定例会を開会の予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。なお、一般質問の日は、ケーブルテレビの収録があります。

(詳しい日程については、「広報ようろう」9月号と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。)

委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会だより編集 特別委員会
吉田太郎	早崎百合子	松永民夫	北倉義博	長澤龍夫	



「わたしの声」を待っています。
役場ロビーに意見箱を設置しております

「わたしの声」の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp

R70

6月定例会

平成29年第2回定例会が6月15日から26日までの12日間の会期で開かれました。

初日(15日)は、町長より、平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書等3議案の報告と、7議案の提案説明がありました。また、19名の農業委員会委員の任命について全て同意しました。東部町民体育館耐震・大規模改修工事請負契約の締結等2議案と議員派遣については同日可決されました。

なお、養老町税条例の一部を改正する条例や平成29年度養老町一般会計補正予算等4議案については総務民生委員会に、上水道事業会計決算の認定等3議案については産業建設委員会に付託しました。

2日目(23日)は、議員5名が一般質問を行いました。

最終日(26日)は、総務民生委員長及び産業建設委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告があり、条例の一部改正や平成29年度一般会計補正予算など6議案について、すべて原案のとおり可決されました。

東部町民体育館耐震・大規模改修工事

決定



5月臨時会

この度、臨時議会におきまして新しく議長、副議長に就任させていただきました。よろしくお願ひ致します。

1300年祭もいよいよ本番を迎え、去る5月31日には秋篠宮殿下をお迎えし、全国愛瓢会が養老町で盛大に開催されました。今後は秋に向けて多くの行事が計画されており、是非とも多数の町民の方々に参加していただきたいと思ひます。

さて全国の町村が抱える人口減少問題を我が町養老町も取り組んでいかなければなりません。私はこの問題を解決するためには子育て支援が有意義であると考へます。未来を拓く子ども達にのびのびと勉強にスポーツに励んでいただくための環境整備や、各種の政策を盛り込み行政・議会・町民が丸となりできることは何でもやるという意気込みで臨み、安全で安心して暮らしていただける町を目指して、日々精進して参りますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長
大橋 三男



議長
青山 貞一

本会議(議場)における 主な質疑内容

東部町民体育館耐震・大規模改修工事請負契約の締結

問 改修によりIS値はどうなるか。

答 計算では南北方向が0.33から0.76へ改善される。東西方向は1.17。

問 床の傾斜及び外構の修繕は行うのか。

答 床面はジャッキアップ等で調整してきたが、これ以上調整ができなくなったため、耐震工事とあわせて改修を行う。外構もスロープの設置とあわせて改修を行う。

平成28年度養老町上水道事業会計決算の認定

問 西小倉送水ポンプ場の土地について、候補地は誰にどのように入診したか。

答 平成25年から26年にかけて西小倉簡易水道組合長及び地元区長へ口頭にて打診した。

問 候補地は何箇所か。

答 2箇所。

問 購入予定地でボーリング調査を行わず、別の場所での調査結果をもとにしていいのか。

答 いくつかの候補地から事前にボーリング調査を実施できる場所を探したところ、協力いただける地権者があり、周辺地盤の地質が建設計画に適しているかを想定した調査を行った。

その後、ポンプ場用地として最適であると判断し、地権者の了承を得られたことから選定した。

問 購入単価の根拠は。

答 本来不動産鑑定を行う必要があったが、地権者より事案の早期解決のための協力的な意向が示されたため、早急に積算できるように道路用地購入で使用する単価を採用した。なお、その単価が適切か判断するため、付近で他課が購入する土地で行った不動産鑑定の結果と比較したところ、安かったため採用した。

問 購入用地の半分以上が舗装され、駐車場となっていないが、目的外使用ではないのか。

答 建物は用地の半分ほどのスペース

であるが、維持管理上、施設機器の修繕・運搬を行う重機等を配置するスペースが必要となる。また、現在駐車スペースとなっていない地下には維持に不可欠な施設が埋設されており適正なスペースが確保されている。維持管理費の軽減及び地元行事等での利用を目的として舗装している。

一般会計補正予算(第1号)

問 森林整備事業調査推進事業費の詳細は。

答 県より各市町村独自の森林配置計画を策定することを求められたため、西南濃森林組合への策定委託料として計上。全額が県より委託金として交付される。

問 地区公民館維持管理事業で、養老自治会館が中央公民館へ移転することの詳細は。

答 JA養老支店の廃止に伴い、中央公民館中ホール入口右手付近へ移転するため改修工事を行う。おおむね10月頃に完成予定。

※IS値とは、構造耐震の指標。国土交通省の基準では、0.6未満の建物は「震度6強の地震で崩壊、倒壊する危険性がある」とされ、0.3未満なら「危険性が高い」とされる。地震の際、学校は避難場所になることから、文部科学省は学校の建物について、0.7以上のIS値を求めている。

ほかにこんなことが決まりました

報告	平成28年度養老町一般会計繰越明許費繰越計算書	繰越明許費の合計 (主な繰越明許費の内訳) 個人番号カード交付事業 238万2,000円 臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業 4,906万7,000円 ケアホーム等整備事業 818万5,000円 社会資本整備総合交付金事業 4,076万2,000円 スマートインターチェンジ建設事業 2,347万1,000円 次世代育成支援・女性活躍推進拠点創出事業 2,980万円	1億5,696万8,000円
報告	平成28年度養老町一般会計事故繰越し繰越計算書	ふるさと学習推進事業 379万2,571円 テキストで使用する図版及び写真等の著作権確認作業に予定以上の時間がかかり、契約期間内の納品が困難となり繰越すもの	
報告	平成28年度養老町介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書	介護基盤緊急整備特別対策事業	1億1,740万円
議案	養老町税条例等の一部を改正する条例	附則第2条の4第1項中「控除対象配偶者」を「同一生計配偶者」に改めるもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例	主任介護支援専門員に更新制を導入し、更新時において新たに研修を創設するなどを内容とする介護保険法施行規則が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
同意	養老町農業委員会委員の任命同意	中村 辰夫(高田)、平井 金吾(烏江)、高木 敬子(上方)、 澁谷 幸男(桜井)、若山 勝行(岩道)、伊藤 政幸(飯ノ木)、 高木 征雄(小倉)、間山 博之(一色)、山田 常夫(大巻)、 森川 保男(瑞穂)、安立 正行(大巻)、小野 和孝(下笠)、 西脇 康(船附)、高橋 敏央(栗笠)、安福 正紀(祖父江)、 大橋 誠(金屋)、木村 五貴(橋爪)、日比野 守(豊)、 田中 清美(室原)	採決 賛成全員で可決
議案	東部町民体育館耐震・大規模改修工事請負契約の締結	契約方法 指名競争入札 契約金額 2億3,220万円 契約相手方 養老郡養老町大巻4590番地(株)大橋組 工事概要 耐震補強、屋根改修、外壁改修、内装改修、 便所改修、電気・機械設備改修工事等	採決 賛成全員で可決
議案	物件供給契約の締結(消防施設(水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型)整備事業)	契約方法 指名競争入札 契約金額 5,940万円 契約相手方 岐阜市本郷町4丁目2番地 (株)三陽商会 岐阜営業所 物件概要 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	採決 賛成全員で可決
認定	平成28年度養老町上水道事業会計決算の認定	詳細は、産業建設委員会報告に(P4参照)	採決 賛成全員で認定
議案	平成29年度養老町一般会計補正予算(第1号)	2,872万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を110億2,672万2,000円とする (主な増減の内訳) 改良住宅譲渡推進事業 2,278万2,000円 笠郷小学校空調施設整備事業 141万5,000円 養老公民館及び養老自治会館移転事業 753万6,000円 社会資本整備総合交付金事業 341万9,000円	採決 賛成全員で可決
議案	平成29年度養老町上水道事業会計補正予算(第1号)	節科目の新設を行うもので、予算額の変更なし	採決 賛成全員で可決
議案	平成29年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	77万円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億1,217万円とする (主な増減の内訳) 償還金及び還付加算金 47万9,000円	採決 賛成全員で可決
議案	議員派遣	市町村議会議員特別セミナー 派遣場所 全国市町村国際文化研修所 派遣期間 平成29年8月3日～2日間 派遣議員 早崎百合子、水谷久美子、林 輝見、田中敏弘、 三田 正敏、長澤 龍夫、北倉 義博	採決 賛成全員で可決

※繰越明許費とは、事業の性質上や予算成立後の事由により年度内に支出を終わらない見込みのものを、限度額を定めて翌年度に限り繰り越すこと。
※事故繰越しとは、年度内に支出負担行為を行い、避けがたい事故のために年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して使用すること。

総務民生委員会へ付託された議案

議案	養老町税条例の一部改正	控除対象配偶者を同一生計配偶者に改めることについて、対象者に変更はあるのか。	問	変更はない。
議案	一般会計補正予算(第1号)	前年度繰越金2億6,556万6千円の詳細は。	問	前年度繰越金が年々減少していることの見解は。
議案	養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正	主任介護支援専門員更新研修等に伴う負担額は発生するの	問	主任介護支援専門員更新研修等に伴う負担額は発生するの
議案	養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例	前年度繰越金が年々減少していることの見解は。	問	前年度繰越金が年々減少していることの見解は。
議案	養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例	主任介護支援専門員に更新制を導入し、更新時において新たに研修を創設するなどを内容とする介護保険法施行規則が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの	問	財政厳しい中絞り込んで予算計上をしているため、年度途中に大きな事業等が発生しないよう計画する必要があると認識している。

産業建設委員会へ付託された議案

議案	平成28年度養老町上水道事業会計決算の認定	西小倉送水ポンプ場の土地について、道路用地購入で使用した単価を採用了詳細は。	問	西小倉送水ポンプ場の土地について、道路用地購入で使用した単価を採用了詳細は。
議案	西小倉簡易水道事業について、当初計画から変更はあったのか。	従来は道路用地購入単価は1筆を買い取った道路部分のみ単価で購入する単価であり、今回の1筆購入した単価とは異なる。付近で他課の購入する土地の不動産鑑定額と比較して安かったため採用した。	問	西小倉簡易水道事業について、当初計画から変更はあったのか。
議案	西小倉簡易水道事業について、平成29年3月に工事がすべて完了したのか。また収入見込みは。	平成29年3月1日から供用開始している。約150戸ほどの申込があり、月に1件あたりおおむね、20㎡から30㎡、3千円から4千円くらいを見込んでいます。	問	西小倉簡易水道事業について、平成29年3月に工事がすべて完了したのか。また収入見込みは。
議案	有収率の考え方	修繕費が168万円ほどで、前年度比53・22%の増である。漏水調査と通報等による修繕箇所の数が増えている。前年度より33件増の104件であり、すみやかに修繕を行ったことが、有収率の向上につながったと考えている。	問	有収率の考え方
議案	委託料として2タイプの改良住宅耐震診断業務、及び分筆78戸分の用地測量。工事請負費として改良住宅の2棟4戸分解体工事費。	社会資本整備総合交付金事業の対象地域は。	問	社会資本整備総合交付金事業の対象地域は。
議案	改良住宅譲渡推進事業の詳細な事業内容は。	岩道西岩道1号線と蛇持角田線。	問	改良住宅譲渡推進事業の詳細な事業内容は。





◆ 岩永 義仁 議員

問 転貸者の把握状況は。

答 違法行為は認められないので返却させる。

問 転貸者又貸し主への対応は。

答 専門の審議会で承認されれば正規契約者に対して有償譲渡していく。

問 空き家となった住宅の再利用は。

答 現在行っていないが相談があれば対応する。

問 空き家となった住宅の再利用は。

答 空き家となる住宅の戸数が確定した後に再利用方法について専門の審議会で検討していく。

問 退去期限が6月末となっているが再延長は可能か。

答 相談に応じる。



スマイルげんちゃん学習会

問 学習の基本的な国語であるが、国語でも実施してはどうか。

答 国語については読書指導の充実に重点をおいている。

小中学校の学習環境は 拡大できればと考える

問 現在は中央公民館一箇所のみでの実施であるが、中学校の空き教室等を利用して拡大してはどうか。

答 将来的には中学校区への拡大、さらには各公民館単位にまで拡大させたい。

問 町内の小中学校で算数、数学、英語において習熟度別少人数制の授業が実施されているが、学校ごとに実施学年がバラバラである。学べる機会の公平性を確保できないか。

答 町内の小中学校で算数、数学、英語において習熟度別少人数制の授業が実施されているが、学校ごとに実施学年がバラバラである。学べる機会の公平性を確保できないか。



◆ 三田 正敏 議員

問 子育て世代の女性が妊娠・出産・育児を経ても離職することなく、継続して就労でき、また仮に離職しても再就職しやすい環境を整備し、若い女性の移住定住を促進する。女性のキャリアアップの為に講座の開催をする。また移住・定住施策については、広域で取組むことでより大きな効果が得られるため西濃圏域全体で連携しながら、女性が活躍できる組織づくりのためのセミナーを開催するなど支援していきたい。

問 中央公民館に「子育て応援の場」の開設は。

答 中央公民館1階の女性サロン及びロビー周辺に、授乳室・キッズコーナー、また、階段昇降機の整備を地方創生拠点整備交付金を受けて施設整備をする。



キッズコーナーのイメージ

町長 空き家バンクの開設を進める

問 特定空き家の実態把握は。

答 平成27年12月の時点での空き家は413軒。うち管理不十分な空き家は94軒と2割強あり、所有者に啓発・注意喚起を行っている。

問 空き家等の有効活用策は。

答 ホームページを開設して、斡旋・紹介が出来る体制を年末までに構築する。専門家の意見が必要な特定空き家の判断や活用の為にも、協議会を立ち上げていく。

空き家対策は

町営住宅（改良住宅） 政策は

町長 住宅を有償譲渡していく

問 町営住宅に関して現在までに10件の訴訟を行なっている。これまでの費用総額は。

答 約1千万円。

問 これまで払い下げを基本として検討してきたが今後は。

答 現在行っていないが相談があれば対応する。

問 過去の勧告により退去する住民への新居所移行等のケアは。

答 現在行っていないが相談があれば対応する。

若年層の定住人口策は

町長 女性活躍の施策に取り組む

平成27年の国勢調査において、養老町の人口は2万9036人で3万人を割込んでいる。5年前の調査時より2296人減少した。

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 83

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成28年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

「ご当地ナンバープレート」の普及は「こうなりました」

問

当初1000枚のナンバープレート導入を予定していたが普及率は12・7%で155台に留まっている。無料で交換が可能であり、養老をアピールする格好の宣伝材料と考える。

答

改めて広報養老等に掲載することも、提案のあったように郵便局や金融機関、新聞販売店等の業者に協力をお願いし更なる普及を促進する。



郵便配達バイクのスマイルげんちゃんナンバープレート（養老郵便局にて）

平成28年6月に、町内の新聞販売店や養老郵便局へ切り替えのお願いにあがり、また、広報やホームページでPRさせていただきました。平成28年7月時点で、新聞販売店25台、養老郵便局で26台の切り替えをさせていただいたこともあり、平成29年6月末現在の発行台数は223台で、平成27年度末の155台より68台増加しました。普及率では19・3%となり、平成27年度末の12・7%に比べ6・6%の伸びとなっております。今後も、広報等を利用して観光振興や町民の地域への愛着心の醸成に努めてまいります。

議会に対する意見

シリーズ 21

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

（町内在住 K・Mさん）

町内の空き家、空き地が寂しく暗く、我々に何かを訴えているように感じます。その背景には少子化等の影響で人口減少が進んでいる事がありますが、若者の町外転出が止まらない現状があります。現状を真摯に受け止め若者が定住できる環境整備（子育て支援等）を考えるだけでなく、今すぐできることを実行する事を望みます。

環状道路関連、県道拡幅、養老改元1300年祭等進行中の事業とは別に各地域や町の年間事業をできる限り簡素化し、毎年同じ事業は2〜3年おきにするなど親子共に負担を軽くすることが特に大事だと思います。学校関連については、パソコンタブレットでの教育（他市町より数年遅れている）や、通学時でのオンデマンドバス、または定期バスの活用、給食医療費の助成等、一方で企業誘致も進めていただきたい。本町で一番大事なことは安心して子育てができる町にすることです。町会議員の方々は町民が選んだ人であり、養老町存続のためにすぐに行動を起こし実行されることを望みます。



綱渡り財政運営では

町長 更なる経費削減に取り組む



◆ 水谷久美子 議員

ここ3年間の単年度決算収支は、連続赤字決算であり、起債発行額も毎年10億円を超えている。財政収支の悪化は、一般財源が足りないか、使いすぎているかのどちらかである。

問

予算編成では一般財源をコントロールし、全事業の投資・経常的経費の認識が明確になる包括予算制度の導入を検討できないか。

答

政府予算や制度の改正、景気の動向による財政状況の変動も懸念され対応が困難。しかし、包括予算制度はメリットも多く最善の手法を模索したい。

問

経常経費充当一般財源を減らし収支改善をはかる事は、本質を論議し、意識改革で可能と考えるか。

答

庁舎内のLED化、軽自動車への転換、契約の見直しなど施策の廃止・減額で経費削減に努めてきた。更なる経費削減に取り組んでいく。

問

平成32年度を最終とした中長期財政計画では、財政調整基金（安定した財政運営の担保）を20億円、減債基金（地方債償還の財源）を4億円などが数値化されている。大変厳しいのではないか。

答

今年度が計画の中間点であり決算状況や健全化判断比率などを踏まえて見直したい。

問

納税者の総合的な生活相談体制を確立している滋賀県野洲市に学ばれないか。

答

先進地視察や他市町の事例など調査研究し納税者に寄り添う納税施策を進めたい。



今年度当計画の中間点

教育行政は

教育長 小・中学校共に改善されつつある

問

日本の教員の1週間当たりの勤務時間は国際調査でも最長であり大きな社会問題になっているが当町の実態は。

答

小学校では昨年と比較し大幅に改善が図られている。中学校では部活動の時間が長く、小学校より大幅に長くなっている。

問

全国的に二学期制導入議論が進められているが町の見解は。

答

職員の負担の軽減につながるが、学期のけじめがつきにくく、中学校の保護者から成績の実態がつかみにくいなどの声があると聞いており、導入の考えはない。